



ご寄附の方法

本基金に関する寄附の手続きは東北大学基金事務局にてお受けします。
寄附の方法は「個人の方」と「法人・団体の方」で異なります。詳細は下記をご確認ください。

個人としてお申込みをいただく場合 クレジットカード・郵便振替・銀行振込をご利用いただけます

郵便振替 同封の払込取扱票をご利用ください。払込手数料は本学にて負担いたします。

銀行振込 振込票をお送りいたしますので、ウェブサイトの寄附申込フォームよりお手続きください。払込手数料は本学にて負担いたします。
お申込み時の寄附の目的欄は「**流体科学支援基金(特定基金)**」をご選択ください。
| 取扱金融機関 | みずほ銀行 七十七銀行

クレジットカード決済 ウェブサイトの寄附申込フォームよりお手続きください。
お申込み時の寄附の目的欄は「**流体科学支援基金(特定基金)**」をご選択ください。
| 取扱カード | VISA MasterCard



東北大学基金ウェブサイトからお申込みの場合 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/> またはこちらから
[税法上の優遇措置] 税務署に確定申告をいただくことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。

法人としてお申込みをいただく場合 お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください

[税法上の優遇措置] 寄附金額全額を損金に算入することができます。

東北大学基金からの顕彰・特典

● 芳名の掲載
「東北大学基金寄附者芳名帳」および「東北大学基金ウェブサイト」に掲載いたします。
ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。

● 東北大学ロゴマークのオリジナルシールを贈呈
蒔絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。

● ご寄附の金額に応じて、賞および記念プレートを贈呈
功労賞以上の賞を受け取られた寄附者様に記念プレートと以下の特典をご用意しています

寄附者顕彰銘板への芳名の掲載
東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している
「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲示させていただきます。

種別	個人	法人
荣誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功労賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功績賞	10万円以上	100万円以上

「感謝のつどい」へのご招待
総長をはじめとした本学関係者との交流・意見交換を目的とした
「東北大学基金感謝のつどい」へご招待いたします。

東北大学校友会プレミアム会員としての特典
広報誌の送付、大学主催のイベントへご招待いたします。

東北大学流体科学支援基金からの顕彰・特典

貢献賞以上を受け取られた寄附者様に以下の特典を用意しています。

種別	個人	法人
貢献賞*	1万円以上	10万円以上

● 流体科学支援基金ホームページへご芳名の掲載
流体科学支援基金ホームページに「流体研サポーター」としてご芳名を掲載させていただきます。
ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。
※流体科学研究所独自の賞となります

● 流体科学研究所主催イベント(講演会、施設見学など)へのご招待
流体科学研究所が主催するイベント(講演会、施設見学など)へご招待いたします。希望者にはイベントの際にご案内いたします。

● オリジナルグッズ等の贈呈
流体科学研究所オリジナルグッズ・広報誌などを贈呈いたします。
なお、基金設立記念として、令和3年3月末日までにご寄付いただいた方には、ピンバッジを贈呈いたします。

ご寄附の方法および東北大学基金からの特典などに関するお問合せ先

東北大学基金事務局(東北大学総務企画部社会連携課内) 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 TEL: 022-217-5058 / 022-217-5905 E-MAIL: kikin@grp.tohoku.ac.jp	東北大学流体科学研究所 広報戦略室 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 TEL: 022-217-5873 E-MAIL: ifs-koho@grp.tohoku.ac.jp
---	--



流体科学支援基金ウェブサイト

INSTITUTE OF FLUID SCIENCE TOHOKU UNIVERSITY FUND INFORMATION

流体科学支援基金のご案内



東北大学流体科学研究所

流体科学支援基金 設置基金の目的

流体科学研究所は2015年4月に長期ビジョンVISION2030を採択しました。そこでは「世界の研究者が集う流体科学における世界拠点の形成」を2030年までに実現するために、流体科学における学術基盤や熱流体計測・解析技術の継承・発展に加え、安全・安心・健康な社会の実現、快適で豊かな社会の実現を目指し、その手段として環境・エネルギー、人・物質マルチスケールモビリティ、健康・福祉・医療に関わるイノベーションの創成と諸問題の解決、統合解析システムの構築、自律型流動科学の創成を目指しています。

また同時に研究所活動の支援及びより高い成果創出のため、スパコン及び風洞・衝撃波関連施設等の施設を積極的に利活用する他、研究者間の国際交流も活発に展開しています。

一方昨今における国内の教育研究環境は厳しさを増し、特に財政・経営面での取組の一層の強化が必要な状況となっています。本基金は本研究所の支援を目的として、長期的な視野に立った若手研究者及び学生等の人材育成、積極的な人的交流による国際展開及び研究環境の整備を積極的に進めることにより、世界最先端の研究所として社会に貢献することを目指して設置するものです。

流体科学支援基金 研究所の使命

流体科学の基礎研究と、それを基盤とした先端学術領域との融合、ならびに重点科学技術分野への応用において世界最高水準の研究を推進して、新しい学理を構築、社会が直面する諸問題を解決するとともに、世界で活躍する若手研究者・技術者を育成することを使命とします。

1. 世界最高水準の研究を推進
 1. 流体科学の基礎研究
 2. 流体科学の基礎研究を基盤とした先端学術領域との融合
 3. 重点科学技術分野への応用
2. 新しい学理を構築
3. 社会が直面する諸問題を解決
4. 世界で活躍する若手研究者・技術者を育成



流体研公式キャラクター
「りゅうたん」

流体科学支援基金 主な用途

人材育成

若手研究者・学生等への計画的な研究支援プログラム実施に係る経費



海外での研究発表支援を目的とした「博士前期課程学生海外発表促進プログラム」や30カ国以上の若手研究者等が集う国際宇宙大学への派遣制度を通じて、世界的に活躍できる若手人材育成を推進しています。



米国The Boeing Companyが世界的に展開する教育プログラム「Boeing Higher Education Program」に参加し、世界の将来を担うべき優れた科学者・エンジニア育成事業を実施しています。

国際ネットワーク強化

国内外の研究者による海外派遣の支援、受入などの活発な人的交流に係る経費



流体科学における世界最大級の国際学会として、「流動ダイナミクスに関する国際会議 (International Conference on Flow Dynamics, ICFD)」を2004年から毎年、仙台にて開催しています。



フランス・リヨン大学 (INSA Lyon, École Centrale de Lyon) に教員と学生が滞在し国際共同研究を推進し、材料科学と流体科学の融合研究を行っています。

研究環境整備

研究支援と成果創出のための研究スペース・実験施設等の研究環境整備に係る経費



未来流体情報創造センター

流体科学におけるスーパーコンピューティング、計算機シミュレーションと実験の融合研究、流体情報の高度可視化等のための次世代融合研究システム (AFI-NITY) を運用しています。



[次世代流動実験研究センター内]

低乱風洞実験施設

流体科学に関する世界最先端の研究を推進するため世界屈指の性能を誇る実験施設・設備を有しており、共同促進事業により民間利用にも供しています。



[次世代流動実験研究センター内]

衝撃波関連施設

Interview

創意工夫と試行錯誤によって 数々の栄冠を手にしてきたWindnauts

東北大学学友会人力飛行部Windnautsは、読売テレビ主催の『鳥人間コンテスト』に出場するため、学生有志によって1993年に結成。2008年には人力プロペラ機部門で大会記録となる36km飛行を成功させ初優勝を飾り、これまで通算17回出場のうち優勝5回、準優勝3回、第3位3回という成績を有しています。

Wind(風)とnauts(船乗り)を組み合わせた造語で、風の海を渡る「風の船乗り」という意味が込められたWindnautsでは、機体の設計から製作まで東北大学の学生が主体となって取り組んでおり、2019年に日本大学が達成した38kmを越えて学生記録を奪還することが、目下のチーム目標と意気込みます。



その他

寄付者の意向を尊重した研究所の活動支援のための経費